



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和5年10月20日

10月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

「響きをつくる快感」

校長 山内 清一

10月7日（土）、今年度の文化発表会を開催しました。合唱コンクール、小笠原・広島・ウィロビー派遣生徒による発表、吹奏楽部・演劇部の発表と素晴らしい文化発表会であったと思います。380名の保護者の皆さんに杉並公会堂までお越しいただきました。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

合唱コンクールの特別審査員は、昨年度に引き続き塚田真夫先生にお願いしました。東京都の中学校音楽教育に長年に渡って尽力され、合唱指導者としてもご活躍されている方です。専門家の立場からの審査と分かりやすいアドバイスもしていただきました。また、生徒の合唱に取り組む姿勢にもお褒めの言葉をいただきました。

さて、以前読んだ新聞に、指揮者の小澤征爾さんの記事が掲載されていました。「レベル下げるな、本気見せなきゃ」というサブタイトルが付いていました。

小澤さんの音楽初体験は、小学校の時の合唱でした。それ以来、アンサンブルで息を合わせることに、響きの中にピアノの音が溶け合うことの喜びを感じるようになり音楽の道に進むことになりました。

「ハーモニーやリズム、メロディーを他人と作り出すことの快感が体にしみこんでいる人は、ただソロだけを弾いたり歌ったりした人より、間違いなく音楽家としての幅が大きくなります。かりに音楽家になれず、違う仕事についても、その人のその後の人生に素敵なものを残してくれるはずですよ」と締めくくっています。

合唱コンクールが終わりました。合唱では、個々の声が優れているにこしたことはありませんが、声量も調和させること、つまりハーモニーが大切です。音楽が苦手な人も得意な人も、自分たちの弱点や課題を知り、声量・音域・響きを追求して、一人一人の心がまとまった美しい合唱を完成させようとクラスみんなで努力したのが、今回の合唱コンクールへの取組であったと思います。そして、小澤さんが言うように、みんなで「響きをつくる快感」を味わった人も多かったのではないのでしょうか。

困難を乗り越えた後の合唱コンクール本番ではどのクラスも緊張しながら精一杯歌い、その歌声をホール中に響き渡らせることができました。歌い終わってからのほっとした生徒の表情には、やりきった満足感、充実感があふれていました。きっとこれからの人生に素敵なものを残してくれたはずですよ。これからも生徒を成長させるためにこのような機会を大切にしていきたいと思えます。



3年A組クラス合唱



3年B組クラス合唱



3年C組クラス合唱

《10月のアルバム》

《文化発表会》10月7日(土)



1年生学年合唱



2年生学年合唱



3年生学年合唱



クラス・指揮者賞の表彰



吹奏楽部



広島平和学習中学生派遣発表



中学生海外留学発表



演劇部

《生徒総会》10月13日(金)



生徒総会



【11月の予定】

11/4	(土)	サタスタ (10時~12時)	16	(木)	期末考査 (英・社・保体)
7	(火)	杉並区 意識・実態調査	17	(金)	期末考査 (国・美・音)
11	(土)	土曜授業 セーフティー教室 サタスタ (14時~16時)	26	(日)	3年 (東京都) スピーキングテスト
15	(水)	期末考査 (数・理・技家)	28	(火)	1年校外学習